

西福寺寺報 **道 - michi -**  
2026 (令和8) 年 歓喜会号

暑さの中で涼しさの 味をしらせてもらう  
(東井義雄)



(今回の法座)  
**歓喜会法座**

8月 4日(火) 昼席(13:00~15:30 ころ)  
夜席(19:30~21:00 ころ)  
5日(水) 朝席(09:00~11:30 ころ)  
昼席(13:00~15:30 ころ)

|     |                                                                                                                                |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ご法話 | お釈迦さまのお弟子たち                                                                                                                    |
| 講師  | 讃嘆舎のみなさん(青年僧侶の布教勉強会)<br>4日昼 水戸法道さん(市内明顕寺)<br>4日夜 住職<br>5日朝 藤井大樹さん(安佐北区教雲寺)前寺信徳さん(安佐北区万福寺)<br>5日昼 徳正俊平さん(三原市徳正寺)柳父一道さん(安芸区品秀寺)) |

YouTube でのお聴聞は、下の QR コードですぐにできます。

4日昼席



4日夜席



5日朝席



5日昼席



最初の一步

はじめての法座ガイド(初参拝の方へ)

- 服装自由・手ぶら OK (聖典/念珠/門徒式章があれば)
  - 1席のみ・途中入退堂 OK / イス席あり/焼香は周りをみながらでも大丈夫
  - 配信の見方も含め、困ったらお気軽にお問い合わせください。
- ※お布施(ご法礼)のお預けは任意です。



浄土真宗本願寺派  
(本山:西本願寺)

多聞山

西福寺

〒739-0152

東広島市八本松町吉川153-2

TEL:082-429-1038

FAX:082-429-1398

仏教婦人会月例法話会  
(お寄り講13:30~15:00)

8月お休み

9月16日(水)

下横野集会所(お世話:下横野)

10月26日(月)

西福寺庫裏(お世話:東郷)

お経会(大人の寺子屋)  
(毎月第3木曜日13:30~15:00)

『正信念仏偈』を読む

8月お休み

9月3日(第1木曜日)

10月15日

11月19日

オアシス法話会  
(毎月第4木曜日13:30~15:00)

『仏さまの言葉を生きる』

8月お休み

9月24日

10月8日(第2木曜日)

11月12日(第2木曜日)

土曜学校  
(毎月第2土曜日9:00~10:00)

8月22日(第4土曜日)

夏の寺子屋(17:00~20:30 ころ)

9月12日

10月10日

11月14日

寺報を読み終わった後は、しまい込まないで、ご家族みんなでご覧ください。  
子どもさん、お孫さん世帯など用に2部以上必要な方は、お知らせください。

## 法座

お寺だより

7月8・9日  
蓮華会法座

【おつとめ】(8日昼)『三奉請』『表白』『正信念仏偈』

(8日夜)『しんじんのうた』

(9日朝)『正信念仏偈』(9日昼)『正信念仏偈』

【参拝者】45名(4席のべ人数)

【仏教讃歌】『芬陀利華』

【ご法話】「西福寺のありがたい話」各席の講師とご讃題

(8日昼)

細馬洗記さん(呉市吉浦中町 誓光寺)

舍利弗、衆生間かんもの、まさに発願してかの国に生

ぜんと願ふべし。ゆゑはいかん。かくのごときの諸上

善人とともに一処に会することを得ればなり。

【仏説阿弥陀經】

柳父一道さん(広島市安芸区畑賀 品秀寺)

南無阿弥陀仏をとふれば

炎魔法王尊敬す

五道の冥官もろともに

よるひるつねにまよるなり

【浄土和讃】『現世利益讃』

(8日夜)

藤井大樹さん、水戸法道さん、徳正俊平さん、柳父一

道さん、細馬洗記さん、と住職がそれぞれ「ありがた

い」といただいている話をしました。

(9日朝)

藤井大樹さん(広島市安佐北区安佐町 教雲寺)

称名はすなはちこれ最勝真妙の正業なり。正業はすな

はちこれ念仏なり。念仏はすなはち南無阿弥陀仏なり。

南無阿弥陀仏はすなはちこれ正念なりと、知るべしと。

【顕浄土真実教行証文類】

水戸法道さん(東広島市西条町下見 明顕寺)

なほ磁石のごとし、本願の因を吸ふがゆゑに。

【顕浄土真実教行証文類】(行文類)

(9日昼)

細馬洗記さん

十方微塵世界の

念仏の衆生をみそなはし

撰取してすてざれば

阿弥陀をなづけたてまつる

【浄土和讃】『弥陀経讃』

徳正俊平さん(三原市大和町 徳正寺)

「一々ののはなのなかよりは三十六百千億の光明でらしてほがらかにいたらぬところはさらになし

【浄土和讃】『讃阿弥陀仏偈和讃』

それぞれの講師が、それぞれの「ありがたい話」をお話くださいました。ぜひ

YouTube録画配信で、全席お聴聞ください。

7月6日

月例法話会

【場所】西福寺庫裏(下野原)

【参加者】19名

【お勤め】『正信念仏偈』『御文章』『二念大利益』

【ご法話】『なるほど浄土真宗』より「母から託される

思い」

蓮如上人が活躍されるのは本当に日本が一番混乱

をしようとした応仁の乱のちよつと前ぐらいの頃であります。そうした中で蓮如

上人が行く先々でたくさんのご門弟の方が残っていか

れました。そこには幼い頃に別れたお母さまから託さ

れた思いがあったと言われます。本願寺の住職を引き

継がれたときにはお参りをする人は本当に少なく閑散としていました。親鸞聖

人一流の再興、つまり親鸞聖人から脈々と伝わって

いるお念仏の教えが今にも途切れてしまふのではない

かという時代背景もあったわけです。そんな中で蓮如上

人は親鸞聖人のお言葉を伝えていかれました。蓮如上

人の書かれた『御文章』や親鸞聖人の『教行信証』ま

た『三帖和讃』を書き写してい

ていかれました。そして私たちが普段のお勤めにし

ていきましようとしてきたのが、『正信念仏偈』の後

に六首の和讃を引いていくお勤めです。間違いなく書

き写して大量に伝えていかれたからこそ、今、私たち

のもとまで親鸞聖人のお言葉が間違いなく伝わって

るんだ、ということなんです。そのお言葉というのは、親

鸞聖人の師である法然聖人のお言葉そのものであり、

それは阿弥陀仏が、私たちを必ず救っていくぞという

教えそのものです。

## 仏教婦人会

7月6日

月例法話会

【場所】西福寺庫裏(下野原)

【参加者】19名

【お勤め】『正信念仏偈』『御文章』『二念大利益』

【ご法話】『なるほど浄土真宗』より「母から託される

思い」

蓮如上人が活躍されるのは本当に日本が一番混

乱をしようとした応仁の乱のちよつと前ぐらいの頃であ

ります。そうした中で蓮如上人が行く先々でたくさん

のご門弟の方が残っていかれました。そこには幼い頃

に別れたお母さまから託された思いがあったと言われ

ます。本願寺の住職を引き

## 歓喜会法座次第

19日昼席『正信念仏偈』

夜席『しんじんのうた』

20日朝席『正信念仏偈』

昼席『正信念仏偈』

「教義」「生活」「宗門」

「聴聞の心得」

「ご法話前半(約30分)」

(休憩10分)

仏教讃歌

「み仏にいだかれて」

「ご法話後半(約30分)」

※夜席は約40分(休憩なし)

「浄土真宗の救いのよろこび」

「恩徳讃」

YouTube saifukuji\_inweb 最新情報

2026 07/18 現在

登録者数 672

視聴回数 129,163 回

総再生時間 20,323.1 時間

## 歓喜会法座アーカイブ



7/8 昼席



7/8 夜席



7/9 朝席



7/9 昼席

親鸞聖人は阿弥陀仏の願いというものは私たちに与っては真つ暗な中を照らして下さる「ともしび」となっていくんだよと伝えてくださり、インドから遠く離れた粟粒のように小さな日本にさえ伝わってきていることを大変ありがたいと喜んでいかれました。蓮如上人がご教化された混乱の時代を思えば、東の端とこの時代を生きている私たちだと受け止められたのではないのでしょうか。

「混乱の中で都合の悪いことが起きれば起きるほど欲や怒りや愚かさが起こり、仏さまの救いからこぼれ落ちていく私たちに『阿弥陀仏の願いをともしびとして歩んでいくくれよ』という願いが込められている、これが親鸞聖人がお伝えくださったお念仏のみ教えです。だからこそ「どうかこの教えに出遇っていただくさいね」という思いで正信偈や和讃を広めていかれたのであらうと思います。

もうひとつ、親鸞聖人が京都にお歸りになられてから関東の方々にたくさんのお手紙を書いて教えを伝えられたことに倣って、蓮如上人もたくさんのお手紙を書いて残していきました。それが、『御文章』という形でまとめられています。なるべくたくさんの人に教えに出遇っていただきたいというので、みんなの前で読んでいくことが考慮され、語っていかれた言葉が、そのままお手紙になっていきます。当時は文字を読める人が限られていたので、読める人がみんなの前で代表して読み、周りの方々はそれ聞いて口に出して伝えていきました。文字が読めない人にも教えが伝わるよう工夫されたのが『御文章』です。マイクがない昔に、遠くの人にまで声を届けるため抑揚をつけて読まれ、聞いていた人は「蓮如上人が今、私の目の前に来てお言葉をかけてくださっているんだな」と受け止めたそうです。

「私たちがどんな生き方

をしていても、阿弥陀仏は私たちのことを見捨てることなく抱き取り、育て、導き続けてくださるんですよ。そうした綿々と伝わっている響きが今、私たちの元に伝わっています。私たちが伝え読んでいく響きが、実はそのままみんなに教えを伝えていく姿であります。教えを伝えるというのは難しい話ではなく、私たちが一日一時「なまんだぶ、なまんだぶ」とお念仏を称えるその響きが、そのまま教えを後に伝えていく尊い姿となっているんです。

### お経会(大人の寺子屋)

7月16日

【参加者】6名

【おつとめ】『正信念仏偈』『浄土和讃』『光明月日に勝過して超日月光となづけたり』釈迦嘆じてなをつぎず無等等を帰命せよより6首『御文章』『一念大利章』『御文章 ひらがな版』164ページ

【法話】『正信念仏偈』『建立無上殊勝願 超発希有大弘誓』第43願「聞名生貴の願」

## 盆踊りの練習

7月28日(火)

13:30～14:30 ごろ

本堂にて

8/4の盆踊りにむけて、『しんらん音頭』の練習をします。お問い合わせでご参加ください。

## 仏教婦人会地区役員合同境内清掃

7月26日(日)

8:00～10:00 ごろ

雨天の場合は中止

※掃除道具は各自でお持ちよりください。



## 住職近況

6月6日  
浄土寺泥落とし法座出講  
(北広島町志路原)

6月8日  
東広島組内会(原 教順寺)

6月13・14日  
法隆寺安居会法座出講  
(広島市安佐南区)

6月18日・7月20日  
見真編集会議

6月19日  
見真編集会議

6月19日  
聞光の会(第123回)

(広島市中区 広島別院共命ホール)

6月24日  
本派矯正教化連誦安芸教区支部総会

7月1・2日  
第4連区布教使研修会

(福山市 ニューキャッスルホテル)

7月13日  
全国布教同志会広島支部総会

(広島市 エディオンビースウィング広島)

7月14日  
勝龍寺安居会法座出講

(北広島町蔵迫)

7月20日  
見真編集会議

8月7日  
立善寺お盆法座出講

(廿日市市原)

8月19日  
聞光の会(第124回)

(広島市中区 広島別院共命ホール)

8月25・26日  
見真編集会議

8月27日  
東広島組寺院研修会

(大竹市 下瀬美術館)

8月28日  
安芸教区布教団役員会

9月2日  
宗門を考える会公開特別講演会

(広島市中区 広島別院共命ホール)

9月17日  
元浄寺秋彼岸法座出講

(東広島市高屋町小谷)

9月19日  
明園寺秋季彼岸法座出講

(三原市大和町椋梨)

## 西福寺夏の寺子屋 (8月土曜学校)

と き 8月22日 (土)

17:00 ~ 20:30 ごろ終了予定

対 象 小中学生

(兄妹と一緒に小学生未満も可)

参加費 ひとり 1,000円 (小学生未満 500円)

内 容 おつとめ 仏さまのおはなし (本堂)

バーベキュー 花火 (境内)

申込み 8月19日 (水) までにお寺にご連絡  
ください。

初めての子、吉川地区以外の方も大歓迎!!

途中からの参加も大丈夫です!

土曜学校 OB・OG スタッフ募集

(高校生以上の参加費は無料)

△小学生未満の参加は、必ず保護者または兄妹同伴にて  
お願いいたします。

【保護者の皆さまへ】

野菜などを持ち寄っていただけると助か  
ります。また当日のご予定が空いてい  
らっしゃる方はお手伝いをお願いいたし  
ます。(保護者の参加費は無料)。ご協力  
よろしくお願いいたします。



## 西福寺



西福寺歓喜会盆踊り  
8月4日 (火)

歓喜会法座昼席 (本堂)

お勤め・ご法話 終了後

盆踊り (本堂・広縁)

むんらん音頭 よしかわ小唄

どなたでも参加できます。

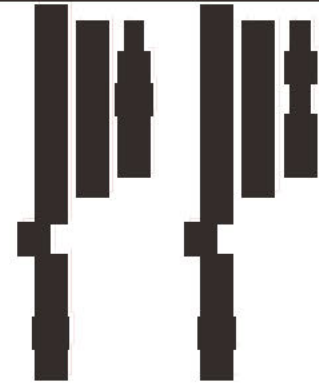
盆踊りは

お念仏に出遇えた

歓喜の踊り

俱会一处

浄土での再会を期して



生前のご苦勞を偲び

謹んで哀悼の意を表します。

はちす墓苑にお参りされる方へ

現在、墓苑前の道路 (県道吉川大  
多田線) で、水道管整備工事が行わ  
れています (2027年2月18日までの  
予定)。

それにともない、墓苑入り口の通行  
が制限される場合があります。

お墓参りの際には、交  
通誘導に従って、安全に  
ご通行ください。



永

代経とは永代にわたりお経が残り、  
仏法が伝わっていくということです。

「永代経懇志」とは、先人の残し伝えて  
くださったみ教えを聴聞する「聞法道場」  
であるお寺が、永代にわたり存続すること  
を願ってお預けされるお布施のことです。  
今を生きる私たちが、先人から受け継い  
だ教えに出遇うための縁を、後世に伝え  
るためのお布施です。多くは故人の遺志を  
継いでお預けされますが、事前に預けく  
ださっても構いません。  
△故人を永代にわたり追善供養してもらう  
ためではありません。

永代経懇志

亡母の志を継いで

ご懇意、衷心より感謝申しあげます。  
これからも、お念仏ご相続ください。

## ペットボトルキャップをワクチンに

安芸教区では、ペットボトルキャップを回収し、世界の子どもたちにワクチンを  
届ける運動をしています。みなさまもぜひ、洗浄済みのキャップをお寺に持ってき  
てください。住職が広島別院に届けます。ご協力よろしくお願いいたします。





よろしく  
お願い  
いたします。

## YouTube チャンネル「saifukuji\_inweb」



### こんな方におすすめです！

- 法座にお参りしたいけれど、体調がすぐれず、長時間座ってられない。
- ご法話をもう一度ゆっくりお聴聞したい。
- ご法話に興味があるが、「お寺に行くのはちょっと…」とためらっている。
- 最近、お寺や仏教のことが、なんとなく気になってきた。

**まずは配信でご法座の雰囲気を感じてください。**

### チャンネルでは ご法座を配信中！

- ご法話だけでなく、お勤めや休憩時間も配信しています。お寺時間を一緒にしましょう。
- 過去のご法座もアーカイブしています。いつでもお聴聞してください。



### 見方はかんたん！

- ①「YouTube (ユーチューブ)」を開く。
- ②「saifukuji\_inweb」または「多聞山西福寺」で検索。
- ③見たい動画を開く。  
LIVE 配信中の法座は、**LIVE** マークが目印。  
(任意) 登録をすると、更新情報が届きます。

ホームページでも見られます

右のQR →  
ホームページ内  
YouTube (法座配信)



### お手伝いします！

「見方がわからない」「スマホでうまく開けない」そんなときは、お気軽にご相談ください。一緒にご案内いたします。

★お問い合わせ★

表表紙の電話番号

裏表紙の連絡先へ

(電話・メール・SNS)

YouTube のお聴聞  
(スマホ OK)

□通信料：視聴にはデータ通信料がかかります(Wi-Fi 推奨)

## 「西福寺はちす墓苑」新規区画・門信徒合同墓利用者募集

〔対象〕 西福寺門信徒またはご縁のある方

〔費用〕

【新規区画】 永代使用 (1m × 2m) 30 万円～  
永代管理費別/墓石代別

【門信徒合同墓】 永代納骨ひとり 5 万円  
(4 人以上 20 万円)

納骨後は遺骨のお返しはできません。

一時預かりひとり 1 万円 (1 年間)  
最長 32 年間まで。



〔問合せ〕 詳しいご相談、お申し込みはお寺までご連絡ください。

門信徒合同墓

## 浄土真宗のことば入門 広辞苑編

そ・う【沿う・添う・副う】ソフ

自五 線条的なもの、または線条的に移動するものに、近い距離を保って離れずにいる意。

①側近く寄る。ぴったりとついている。万葉集

(11)「赤土の小屋に小雨降り床さへ濡れぬ身に」・「我妹」。宇津保物語(吹上上)「榊桜一列

なみ立ちたり。それに」・ひて紅梅なみ立ちたり。それに」・ひてつづじの木ども北になみ立ちて」。

枕草子(173)「立部(たてぶ)の間に、かげに」・ひてたちて」。「川に」・った道」。「影が形に」・う」

②基準となるものから離れないようにする。「既定方針に」・って行う」

③かなう。適応する。「御期待に」・うよう努力します」

④あるが上に加わる。つけ加わる。源氏物語(葵)「御息所は、物をおぼし乱るゝ事、年ごろよりも多く」・ひにけり」

⑤つきそう。同伴する。源氏物語(賢木)「親！ひ下り給ふ例もことになけれど」

⑥夫婦として共に居る。つれそう。万葉集(二)「身に」・ふ妹し思ひけらしも。狂言、猿座頭「身共が所へ連れていて、千年も万年も」・はうぞ」。

「」・われぬ縁をなげく」

⑦交わる。交際する。日葡辞書「ヒトニハソウテミヨ、ウマニハソウテミヨトイウ」「ソイヨイヒト」

『広辞苑 第七版』

今回は「そう」について味わいます。

2019年に突如、「老後資金は2千万円が必要」というニュースが話題となりました。金

融庁が高齢者の収入と支出についての統計をもとにした報告書に記載があったようですが、「根拠があやふやだ」と各方面から異論が出ました。とくに、データ元になった世帯が約千五百世帯に過ぎないのが問題でした。

ひとくちに「高齢者」といっても、「ひとり暮らしか、家族との同居か」「働いているか、いないか」「持病を抱えているか」など、その人のおかれていまする状況はそれぞれであり、だれひとりとして同じ状態の人はいません。それなのに十把一絡げで「2千万円必要」とされたことで、感情的な反応がおき、数字が独り歩きをしてしまいました。それは自分の老後に対する不安への裏返しだったのかもしれない。その不安に最後まで「寄り添って」くれるものはなんでしょう。

せつけ 摂化

摂取化益の略。衆生を救いとして、教化し利益を与えること。『礼讃』には「光明・名号をもつて十方を摂化したまふ」(行巻引文・註165)とある。

せつけずいえん 摂化随縁

衆生の機縁にしたがって教化すること。『浄土和讃』に「二智円満道平等 摂化随縁不思議なり」(註564)とある。

(『浄土真宗辞典』本願寺出版社)

仏教では「ものごとにはすべて原因となるものがある」という「因果の道理」を説きます。

しかしそれは、「今起こっている問題は、過去のあの行いが原因です」などという一対一の関係ではありません。さまざまな原因が、それぞれ

条件(縁)が整うなかにひとつの結果が起こるのです。これを「因縁生起(縁起)」といいます。この「縁」を「思議(自分の思いやはからい)」することはできません。

私たちには「老」「病」「死」の問題がつねに起こります。他人がさまざまなだけでなく、私をとりまく「縁」も刻々と変わり続け、さまざまな姿となるのです。しかもそれは「思議」だけではどうにも解決できないものです。自分の力で因を整えたとしても、願ったとおりの結果が起こるかどうかはわかりません。ですから自分の力だけでは、人は不安を解決することができないのです。

だからこそ阿弥陀仏は、私の「思議」を超えて、どのような私であっても救っていきたくて願われます。「衆生(すべてのいのち)」を救うとは、「みんなを十把一絡げに」ということではありません。「南無阿弥陀仏」の声となって、「縁」によって迷い苦しむ私に随って、ぴったりと寄り添い、決して離れることがありません。そのはたらきに摂めとられたとき、「私の『思議』を超えた『不思議』」な縁によって支えられ、導かれていた身であった」とのいのちの豊かさに目ざめていくことができるのです。これが現世での浄土真宗の救いの利益です。

## 今回のまとめ

●すべては「因縁生起」。だれひとりととして同じ人はいない。

●どのような姿になろうとも、決して見捨てず摂め取ってくださる、阿弥陀仏の「摂化随縁」。

阿彌陀仏の「摂化随縁」。



## 浄土真宗のことば入門 『正信念仏偈』その69

〔本文〕

建立無上殊勝願 超発希有大弘誓

〔書き下し文〕

無上殊勝の願を建立し、希有の大弘誓を超発せり。

(『浄土真宗聖典 註釈版』願浄土真実教行証文類行文類)

〔現代語訳〕

この上なくすぐれた願をおたてになり、世にもまれな大いなる誓いをおこされた。

(『浄土真宗聖典 願浄土真実教行証文類-現代語訳』)

第9願「設我得仏 国中人天 不神足 於一念頃 不至不能超過 百千億那由他 諸仏国中 不取正覚」(神足如意の願)

たとひわれ仏を得たらんに、国中の天人、神足を得ずして、一念のあひだにおいて、下百千億那由他の諸仏の国を超過することあたはざるに至らば、正覚をとらじ

(『願浄土真実教行証文類 浄土真宗聖典註釈版』16ページ)

わたしが仏になるとき、わたしの国の天人や人々が神足通を得ず、またたく間に数限りない仏がたの国々を飛びめぐることができないようなら、わたしは決してさとりを開きません。

(『浄土三部経-現代語訳』〔本願寺出版社〕)

世尊よ。もしも、かのわたくしの仏国土に生まれた生ける者どもが皆、たとえ心のほんの一刹那の中にでも、百千億・百万の仏国土を飛び越えて行く(神足通)ということによってでも神通自在の最高の完成に達しないようであったら、その間はわたくしは、〈この上ない正しい覚り〉を現に覚ることがありませんように。

(『浄土三部経(上)』中村元・早島鏡正・紀野一義訳注〔岩波文庫〕)

ろくじんつう〔六神通〕 梵語シャッド・アビジュニャー(sad-adhijna)の漢訳。六通ともいう。すぐれた智慧に基礎づけられた自由自在な活動能力。①神足通。欲する所に自由に現れることができる能力。②天眼通。世間のすべてを見通す能力。また衆生の未来を予知する能力。③天耳通。世間一切の苦楽の言葉、遠近の一切の音を聞くことができる能力。④他心通。他人の考えていることを知る能力。⑤宿命通。自己や他人の過去のありさまを知る能力。⑥漏尽通。煩惱を滅尽させる智慧。六神通のうちの前の五は

凡夫にも得られるが、第六の漏尽通は聖者のみを得るといわれる。

(『浄土真宗辞典』本願寺出版社)

「神足通の願」というのは、(中略)神の足と書いてありますから、飛脚のように、行きたいと思う所へはどこへでもすぐ行ける、ということが神足通ということでもあります。さればただそれだけでも意味があるかもしれないが、しかし私がさきほど申しましたような意味で神足通を読みますと、神通は智慧でありますから、前の四つの知識によって、今度は自分の行動を自由にすることができる。心にはわかっている、わかった通りの行動をとることができなければ、これほど不自由なことはない。だから神足通は天眼・天耳・他心という通力より得たその知識によって行動をとることである。自分がおこないをとるにおいてきわめて自由であるということが、この神足通というものではないでしょうか。

こういうふうに見ていきますと、この五つの神力の本願は、第三・第四の本願が外から与えられる幸福であるのに対して、内部に満たされる幸福を与える本願であろう。こういうふうに思われるのであります。

(『四十八願講義』金子大榮著〔法蔵館〕)

世間のすべてを、見て、聞き、同感する智慧によって、衆生の苦しみ、悲しみと自在に寄り添っていききたいとの願いを起こされたのです。これは自他を分け隔てなく、救っていききたいという慈悲の活動相でもあります。

※2021(令和3)年10月21日の「お経会(大人の寺子屋)」講義資料からの抜粋です。

※ホームページには全文を掲載しています。「浄土真宗のことば入門」→『正信念仏偈』編よりお読みくだ



右のQRを読み込むとホームページ内で読むことができます。



## Photograph Collection

蓮華会法座

講師のみなさん



細馬洸記さん



柳父一道さん



藤井大樹さん



水戸法道さん



徳正俊平さん



ご法話の様子



## ゆうちょ銀行振込口座

安全面の観点から、ホームページ掲載のPDFには口座情報を載せていません。  
お振込みをご希望の方は、お寺までお問い合わせください。

ご寄付は随時お預かりしております。

## PayPayでのお納め (本堂・庫裏内)

本堂・庫裏内では、PayPayでも「お賽銭／お布施／ご寄付」をお預かりできます。操作が不安な場合は、お気軽にお声がけください。



※ PayPay は 本人確認済みのアカウントのみご利用いただけます。

◆先日の「新型コロナウイルス感染症」の発生により、多くの人が感染し、死亡するなどの被害が出ています。このように、感染症は私たちの身近な脅威となっています。西福寺では、感染症の予防と治療のために、お賽銭／お布施／ご寄付を随時お預かりしております。お寺までお問い合わせください。

## 庫裏

## ご寄付について

- ・ご寄付は随時お預かりしております。
- ・個人名／団体名でのご寄付（ご寄進）をご希望の場合は、事前に住職までご相談ください。

## WEB 賽銭箱

ホームページから「お賽銭／お布施／ご寄付」をお預かりできます。

(クレジットカード専用)

ホームページの「WEB賽銭箱」ページをご覧ください。



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram



公式 LINE



X